

山野で採れた野生の「キノコ」などは、食べる前に放射能測定をしましょう！

■問／環境課 放射線モニタリングセンター TEL 525-3210

令和5年度中に市民の皆さんが持ち込んだ食品などに含まれる放射能を測定した総数は、1,701件です。

このうち、放射性セシウムの摂取基準値(100ベクレル／キログラム)を超えて検出された件数は94件で、全体の5.5%を占めています。中でも、秋に旬を迎える「キノコ類」は39.4%と、他品目に比べても高くなる傾向があります。

山野で採れた野生の「キノコ」などを食べる際は、事前に放射能測定を行い、安全を確認することをおすすめします。

食品の放射能測定をご希望の際は、各測定所へ直接お問い合わせください。

出荷販売を目的としない、市民の皆さんの持ち込みによる食品の放射能測定の結果(令和5年度)

測定品目	測定件数 (A)	検出件数※2	うち基準値 超過数※3(B)	基準値超過の 割合(B)/(A)
令和5年度の測定合計	1,701	276	94	5.5
キノコ類	99	65	39	39.4
キノコ(ナラタケ)*	13	5	2	15.4
キノコ(シイタケ)*	11	9	9	81.8
キノコ(サクラシメジ)*	7	5	3	42.9
キノコ(コウタケ)*	6	6	6	100.0
果物・木の実	429	21	5	1.2
カキ	124	0	0	0.0
ユズ	46	1	0	0.0
クリ	33	12	3	9.1

※1 *印のついている品目は、出荷制限されている品目です。

※2 検出件数：本市では簡易測定装置を使用しているため、検出限界値が20ベクレル／キログラムとなり、この数値を下回る場合は、不検出となります。

※3 基準値超過数：一般食品の場合、放射性セシウムの基準値100ベクレル／キログラムを超えて放射能が検出された件数です。

ご家庭の食品中の放射能
測定結果をお知らせしますクリックでもページに
移動できます食品中に含まれる放射能
の測定を行っていますクリックでもページに
移動できます

ホールボディカウンタによる内部被ばく検査の結果をお知らせします

【令和6年3月31日現在】

■問／保健所 保健総務課 TEL 525-7681

令和5年度 検査実施状況

年齢区分 ※1	検査対象者数(人) ※2	検査累計人数
10歳未満	19,048	8,889
10歳代	23,080	87,919
20歳代	25,083	46,135
30歳代	27,939	8,148
40歳以上	174,213	59,444
計	269,363	210,535
その他 ※3		3,060
ひらた中央病院		1,183
合 計	269,363	214,778

検査結果

よたふ
預託実効線量(注1)は、受検者214,778人全員が1ミリシーベルト未満となっています。

(注1) 預託実効線量とは、計測された放射性物質の量から推定した、成人では50年間、子どもでは70歳までに体内から受ける内部被ばく線量のことです。

検査結果の概要

福島市健康管理検討委員会(注2)より、「健康に影響を与えるような数値ではない。」との見解をいただいています。

(注2) 福島市健康管理検討委員会とは、医師や専門家などで構成する委員会です。

※1 年齢区分の基準日は、令和5年3月31日現在

※2 検査対象者数は、令和5年3月31日の住民基本台帳人口

※3 避難区域内の市町村からの避難者など市に住民登録がない方